

科目名	密教学講読演習G			学期	後期	単位数	2	担当者	松長潤慶
副題	密教図像学を学ぶ								
ナンバリング	M3-01-292	授業方法	講義	実務経験の有無			無	関連DP	1,2

授業の目的と概要

密教学講読演習Fで学んだ知識を基本とし、図像学的見地から各種曼荼羅の尊像の成立に関して様々な角度から比較研究を行う。本授業では、前期で行った図像資料講読演習を基礎とし、曼荼羅に登場する尊格についての譜系を総合的に学習する。そのため、基礎知識として前期の授業での講読演習が不可欠となるので通期で受講することが望ましい。

授業の到達目標

各種曼荼羅における密教尊像の基本構成を学習し、図像学の立場から密教の流伝を学ぶことを目的とする。

授業計画

1. 概論(講義の進め方等)
2. 曼荼羅尊像に関する基礎知識 (仏の種類)
3. 曼荼羅尊像に関する基礎知識 (仏の展開)
4. 曼荼羅尊像に関する基礎知識 (密教仏の種類)
5. 曼荼羅尊像に関する基礎知識 (密教仏の展開)
6. 曼荼羅尊像に関する基礎知識 (曼荼羅諸尊の種類)
7. 曼荼羅尊像に関する基礎知識 (曼荼羅諸尊の展開)
8. 密教の流伝に関する基礎知識 (初期密教以前の密教要素)
9. 密教の流伝に関する基礎知識 (初期密教)
10. 密教の流伝に関する基礎知識 (中期密教 前期)
11. 密教の流伝に関する基礎知識 (中期密教 前期)
12. 密教の流伝に関する基礎知識 (中期密教 後期)
13. 密教の流伝に関する基礎知識 (後期密教 前期)
14. 密教の流伝に関する基礎知識 (後期密教 後期)
15. 密教の流伝の総合的評価

準備学習(予習・復習)・時間

予習の必要はないが、授業後に復習することが望ましい。約2時間。

テキスト

大正新脩大藏経図像部

参考書・参考資料等

①松長有慶編『密教を知るためのガイドブック』法蔵館1995年②頼富本宏・下泉全暁『密教仏像図典』人文書院1994年③佐和隆研『仏像図典』吉川弘文館1962年

学生に対する評価

レポート(60%)、授業参加の積極性(30%)、ノート作成(10%)

ルーブリック(目標に準拠した評価)

- (C) 曼荼羅に関する基礎知識を習得する
- (B) 密教尊像に関する基礎知識を習得する
- (A) 尊像の流伝に関して理解する
- (S) 密教図像に関して体系的に理解できる

課題に対するフィードバックの方法

授業毎に行う。

その他

実務経験のある教員が行う授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業内容か)